

マネジメントコース

世界の経済情勢・政治情勢は日増しに混乱を深めています。宗教上の対立、民族問題に起因する紛争の増加、異常気象による災害の増加、円高ドル安・ユーロ安、高まるアメリカの失業率、高まる中国のプレゼンスと東アジアの経済攻勢。その一方で混迷度を増すばかりの我が国の政治経済情勢は眼を覆うばかりです。期待した政権交代のもたらした混乱は、外交、財政、経済対策にまで広がり、国民の先行き不安を高めるばかりです。そんな状態のときこそ企業で働くビジネスパーソンは、主体性を持って自らのアビリティを高めていくことが必要です。マネジメントコースではビジネスに結びつくメニューを厳選して皆様にお届けいたします。

A MBAマネジメント基礎講座

全6回 時間…19:00~21:00
受講料…24,000円 (同窓生割引18,000円)
定員…25名
会場…東京丸の内キャンパス
※講師のスケジュールにより、日程が入れ替わる場合がございます

6/7 (火)

第1回「人材マネジメント論」

担当:株式会社ヒューマンラボ取締役(MBA) 船越 伴子

「人」はもっとも大事な経営資源の1つです。この「人」にスポットをあて、何が人をやる気にさせるのか、また現在の企業環境のなかでどのような人材が求められているのか、人材開発の基本的考え方を学びます。

6/14 (火)

第2回「財務・会計論」

担当:(有)OBSビジネスパートナー代表取締役・中小企業診断士(MBA) 佐藤 真理

財務・会計論では、経営学を実践に活かす上で欠かせない、決算書の読み方にフォーカスします。決算書(貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書)の仕組みと、それぞれがどのような意味を持ち、相互にどのように関連しているのかについて、簡単な事例を交えながら学んでいただきます。簿記を知らない方や会計が苦手な方にも楽しく受講していただけるように工夫しています。

受講にあたっては、電卓をご持参ください。

6/21 (火)

第3回「競争優位な組織経営」

担当:日本高周波鋼業株式会社相談役 池田 辰雄

バブル崩壊以降の日本企業の衰退とその後の復興の経過は大変特徴的です。一時喧伝されたアメリカスタンダードの経営から脱却して、再度、日本独自の効率的経営が生まれようとしています。その典型とも言える鉄鋼業に長年身を置く者として、実態に即した経営姿勢と主要な一般的課題を披瀝して、今後経営者や幹部となられる諸氏への事前準備のヒントを提供します。話題は製造業に根ざしますが、異業種に働く方々にも参考になると思います。

担当講師

船越 伴子

Funakoshi Tomoko



業務経歴・資格

2003年関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了
株式会社ヒューマンラボ取締役
2級キャリアコンサルティング技能士(国家資格)
日本アクションラーニング協会公認 認定ALコーチトレーナー

主な業務経歴

商社にて人事業務を経験後、教育研修団体を経て、人材開発やキャリア開発専門会社を共同設立。教育研修、HRや組織開発のコンサルティングなど、人材に関わるトータルのサポートに携わる。また、関西学院大学経営戦略研究科が文部科学省の委託を受け進めてきた「ハッピーキャリア(女性の再就職・起業)支援プログラム」の講師を担当し、委託事業終了後も引き続き女性の活躍推進事業に関わる。日本キャリアデザイン学会会員。

担当講師

佐藤 真理

Sato Mari



業務経歴・資格

1994年 京都大学法学部卒業。経営コンサルタント
2008年 関西学院大学大学院経営戦略研究科ファイナンスコース修了
同大学客員研究員兼非常勤講師
中小企業基盤整備機構チーフアドバイザー、中小企業診断士

主な業務経歴

大手生命保険会社にて、顧客対応、企画調査、総務(秘書)、経理等の業務を幅広く経験後、経営コンサルタントとして独立開業。金融機関におけるゼネラリストとしての経験を活かし、ベンチャー企業・中小企業を対象とした経営コンサルティングに従事している。専門は経営戦略策定、経営計画作成、顧客満足経営・従業員満足経営の実践支援など。また大学等で実務経験に基づく講義を積極的に行うなど、若手人材の育成にも尽力している。

担当講師

池田 辰雄

Ikeda Tatsuo



業務経歴・資格

1969年 京都大学工学部冶金学科卒
2002年 関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了(MBA8期生)

主な業務経歴

1969年(株)神戸製鋼所に入社し圧延、製鋼などの鉄鋼生産の技術開発を担当。1978年より3年関西ドイツに駐在し鉄鋼技術および戦略調査を担当。1981年より神戸製鉄所にて線材棒鋼生産の技術開発、品質保証、技術企画などを経験。1989年より4年間アメリカの合弁会社USS/KOBE STEEL社に出身し、計画および品質保証担当部長として技術移転に従事。2000年より神戸製鋼所執行役員神戸製鉄所長。2002年より常務執行役員として全社の鋼材生産全般を総括。2004年より日本高周波鋼業株式会社社長。2010年6月相談役に就任。

MBAマネジメント基礎講座ではビジネス上でおさえておかなければならない、人材マネジメント・財務会計・マーケティング・経営戦略・IT情報戦略・企業経営総論を講義科目とし、MBAの基礎的な知識を広く12時間で学べるよう設計しています。講師は、関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコースを修了した実務家が担当します。

こんな方におすすめ： 将来のために、他部門の仕事を知りたいという方や、今担っている仕事よりもう一段高い視点で経営を見ようとするビジネスパーソンにお勧めです。

6/28(火)

第4回「マーケティング論」

担当：株式会社JMRサイエンス取締役(MBA) **川島 隆志**

われわれの企業活動のすべてのコストを負担してくれているのは「お客様」です。だからお客様を中心に考える必要があるのです。そのお客様との良好な関係を形成するためには、マーケティング志向の企業活動が必須です。この講座では、まず、企業活動におけるマーケティングの位置づけ、その考え方を押さえることにいたします。その上で、BtoCマーケティング、BtoBマーケティングの両方について、様々な事例を紹介しながら基礎的な理論・考え方を学んでいただきます。

7/5(火)

第5回「情報戦略と企業経営」—その理論と実践—

担当：ビジネスイノベーションコンサルティング代表(MBA) **登坂 一博**

情報が重要な経営資源の1つと言われはじめて、かなりの期間がたっています。本当に現在の経営者は情報を積極的に成長戦略(収益の拡大)に適用できているのでしょうか。難解なIT用語をビジネス用語として理解できているのでしょうか。その疑問を解消するためのヒントを情報資源管理の理論ベースと成功企業事例を通して、皆様と考えていきたいと思えます。

7/12(火)

第6回「企業経営総論」

担当：国際ランド&ディベロップメント株式会社 代表取締役社長(MBA) **松田 太一**

「経営学の全体像を俯瞰する」というこの講座の設計意図に基づき、「経営学とは何か、企業とは何か、経営とは何か」という3つの基本的な問いについてもう一度考えます。

担当講師

川島 隆志 Kawashima Takashi

業務経歴・資格

1996年 関西学院大学商学研究科
博士課程前期修了 MBA取得
(株)日本マーケティング研究所代表取締役社長
(株)JMRサイエンス代表取締役を経験 2009年より現職

主な業務経歴

ブランディング、店頭マーケティング、BtoBマーケティング、新規事業開発などを幅広く経験。
主要論文・著書：「生産財企業に学ぶ関係性マーケティング」(1996年)、「新商品開発プロセスの革新」(1999年)、「パワーブランド構築とCRM戦略」(2005年)、「破壊的マーケティング・イノベーション」(2009年)、「日本型マーケティング3.0」(2010)、「顧客価値創造型営業への進化」(2010)共著 JTB能力開発



担当講師

登坂 一博 Noborizaka Kazuhiro

業務経歴・資格

1982年 富士ゼロックス入社
1999年 関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース修了(MBA)
2000年 経営コンサルティング会社入社
2002年 日本ビューレットパカード入社
2009年8月 ビジネスイノベーションコンサルティング代表

主な業務経歴

富士ゼロックスでテリトリー営業から大手企業担当のアカウントマネジャーを経験。その後、経営コンサルタントに転じ、営業改革のコンサルティング案件を多数担当。その後、日本ビューレットパカードにビジネスコンサルタントとして参画し、IT武装化による営業モデル改革、グローバルプログラムの日本への導入等に従事。現在は、BIC代表として営業力強化の為の営業戦略の立案から実行・定着支援等の実践コンサルティング及び企業の売上げの1~3%を占めているプリンティングコスト削減コンサルティングを専門とする。一貫して営業&IT関連の職務に従事し実務と理論の融合を実践し続けている。一般社団法人CRM協議会関西支部長を歴任。



担当講師

松田 太一 Matsuda Taichi

業務経歴・資格

1993年 大成建設株式会社入社
2001年 関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコース 入学
2002年 経営コンサルティング会社を起業
2006年 株式会社KHC 代表取締役社長(現取締役)
2009年 国際ランド&ディベロップメント株式会社 代表取締役社長
現在に至る

主な業務経歴

'93年に大学を卒業後大手ゼネコンに勤務、海外駐在などを経験。'00年に関西学院大学大学院商学研究科マネジメントコースに入学、大学院在学中の'02年に経営コンサルティングを行う会社を起業し、主に中小企業の企業再生案件などに携わる。'06年からは複数の企業の代表取締役社長や取締役役に就任、現在は東証一部上場企業の子会社の代表取締役社長を務める。



マネジメントコース

B 「実務に生かす経営学」講座

担当：国際ランド&ディベロップメント株式会社 代表取締役社長(MBA) 松田 太一

全6回 時間…19:00~21:00
受講料…24,000円 (同窓生割引18,000円)
定員…15名 ※他の履修との併用は出来ません
会場…東京丸の内キャンパス

この講座では、経営戦略、会計、ファイナンス、マーケティング、組織論といった経営学の基本領域全般について取り扱います。経営学の「知識」ではなく「考え方」に重点を置き、講座内では私の講義は最小限にとどめ一方、さまざまな材料を提供して受講生の皆さん自身に考えて頂く場を提供し、現場で役立つことができる「考え方」を身につけて欲しいと考えています。長時間の講義が苦手という方、経営学に触れるのは全く初めてという方、経営者を目指したい方、MBAに興味のある方、講座を通じて人脈を広げたい方などにお勧めします。



	テーマ	内容
第1回 8/30(火)	企業と経営	前半では企業とは何か、経営とは何かといった基本的な事項を確認します。後半では企業分析の基礎となる財務諸表の基本と貸借対照表の大まかな読み方について解説します。
第2回 9/6(火)	アカウンティングとファイナンス	経営学におけるアカウンティングとファイナンスが取り扱う内容について説明した後、実際の企業の財務諸表をROEやROAといった基本的な財務指標を用いて概観し、アカウンティングやファイナンスについての理解を深めます。
第3回 9/13(火)	ケース分析&プレゼンテーション1 「企業価値向上」	ケース企業の分析を通じてこれまで学んだことを整理するとともに、分析結果のプレゼンテーションを通じて、ビジネスに欠かせない分析力とプレゼンテーション力を身につけます。
第4回 9/20(火)	組織とリーダーシップ	前半では経営学で取り扱う組織論や組織行動論といった基本理論を確認し、後半ではリーダーシップについて考えます。
第5回 9/27(火)	戦略とマーケティング	前半では経営学における戦略やマーケティングの基本的な概念や定義を確認します。後半では次回のグループ・プレゼンテーションに向け、グループごとでワークを行います。
第6回 10/4(火)	ケース分析&プレゼンテーション2	グループによるプレゼンテーションを通じて、これまで学んだことを再確認します。



私は丸の内講座における自分の使命を、「学びへの興味と勇気に火をつけること」だと思っています。実務家である私たちが経営の理論と実践の橋渡しをし、双方向にコミュニケーションをとりながら講義をすすめ、さらには受講生同士の交流の触媒となりながら皆さんに気付くと人脈を広げて頂くことによって、社会人が学ぶことの価値と興奮を感じ取って欲しいと考えています。講座でお会いできるのを楽しみにしています。(松田 太一)

C 経営管理のための「人事労務実務基礎知識」講座

担当：早稲田労務経営所長、(社会保険労務士、中小企業診断士) 池内 恵介

全6回 時間…19:00~21:00
 受講料…24,000円 (同窓生割引18,000円)
 定員…15名 ※他の優待との併用は出来ません。
 会場…東京丸の内キャンパス

経営資源の中で一番大切なヒトを管理するためには、入社から退社までのフローにおいて、実に様々な人事労務の実務知識が必要となります。こうした知識は、単に手続き上の問題にとどまらず、経営効率や生産性にも直結していくものであり、侮っていないでいると企業運営上手痛いしっぺ返しを喰らうことにもなりかねません。当セミナーでは、人事労務を実務的に担当されている方(総務部・管理部・人事部といったセクションでお仕事をされている方)、あるいは中小企業の経営者の方などを主対象として、これだけは知っておきたい人事労務に関する実務的知識について、法的な解釈なども含めて解説をしていきます。

	テーマ	内容
第1回 8/25(木)	労働基準法の押さえどころ	労働者を雇用する上で、否が応でも関わりを持つ法律が、労働基準法です。労働者保護という観点から、経営に様々な制約を求めます。脱法行為を犯さないために最低限知っておきたい押さえどころをお伝えします。
第2回 9/1(木)	従業員採用に際しての実務知識	従業員を採用するには、募集⇒書類選考⇒面接⇒採用決定⇒入社手続⇒入社という流れで実務を進めていくことになりますが、それぞれの段階で、知っておきたい法的要件や実務知識について、ポイントをお伝えします。
第3回 9/8(木)	従業員退職に際しての実務知識	従業員の退職に際しては、様々なトラブルを誘発する危険があります。特に解雇の場合には、手続上も慎重な対応が求められます。退職・解雇の実務について、法的捉え方も含めて、解説をしていきます。
第4回 9/15(木)	賃金管理の実務知識	賃金について、法律ではどのような定めがされているかを見ていきます。また加えて我が国で通常用いられている様々な賃金制度について俯瞰をしていながら、どのような制度が望ましいかについて企業規模に応じて考察をしていきます。
第5回 9/22(木)	労働時間管理の実務知識	労働生産性を高めるためには、労働時間、勤務時間をどう設定するかによるところ大です。法的要件をしっかりと守りながら、もっとも効率的に働いてもらうための管理方法について、考察をしていきます。
第6回 9/29(木)	労働保険・社会保険の基礎知識	我が国の社会保険手続きについては、その多くを企業に負わせているので経営管理上一定の知識が求められます。経営管理者が知っておきたい労働保険、社会保険の基礎知識について、コンパクトにお伝えをしていきます。

担当講師

早稲田労務経営所長、
(社会保険労務士、中小企業診断士)



池内 恵介

Ikeuchi Keisuke

1986年早稲田大学法学部卒業。同年、株式会社三越入社。人事・労務中心の職歴を積む。労働組合専従として計4回に亘る人事賃金制度改正に実務面で参画。また中央副委員長としてオルグ活動、経営対策活動を推進する。三越退社後は、一時マーケティングコンサルタントなどを経験したのちに、セガサミーグループにて企業合併実務やリストラ実務を経験する。現在社会保険労務士事務所を企業。人事賃金制度の構築、人的リストラチャリング支援、就業規則作成などについて経営視点での労務コンサルティングを業務の主軸としている。

土曜集中講座

D 強いチームをつくる「チーム学習と対話」講座

担当：株式会社ヒューマンラボ取締役(MBA) 船越 伴子

全3回 時間…13:00~17:00
 受講料…24,000円 (同窓生割引18,000円)
 定員…15名 ※他の優待との併用は出来ません。
 会場…東京丸の内キャンパス

厳しい経営環境のもと、個人のみでは限界があり、環境変化に対応するためにチーム力の向上とチーム学習が問われています。ここでは、組織が変わるためにも欠かせないチーム学習について、なぜチーム学習が重要なのか、どうチーム学習を進めればよいのかを考えます。そして、このチーム学習は「対話(ダイアログ)」から始まります。改めて対話とは何かを考え、対話の果たす役割や、対話を通じた共創型問題解決のアプローチを体験的に学びます。



	テーマ	内容
第1回 6/25(土)	組織変革とチーム学習	チーム学習とは何か。なぜ、組織変革にチーム学習が求められるのかを理解します。
	チーム学習を進めるリーダーシップ	チーム学習を進めるうえでリーダーシップは大きな役割を果たします。多様なメンバーをまとめチーム力を高めるリーダーシップを考えます。
第2回 7/9(土)	ケーススタディ「チーム学習のもたらすもの」	企業事例をもとに、どのようにチームの知性を高め、組織変革を果たしていったか、その鍵をつかみます。
	チームの創発を引き出す対話基本	チーム学習の始まりであるチームの対話について考え、どうやって創発的な対話が展開されるかを体験します。
第3回 7/23(土)	チームの創発を引き出す対話実践	実際にチーム対話を演習で進め、体験的に学びます。
	プレゼンテーション	組織変革、チーム学習、対話などのキーワードから、受講者ご自身の体験や学びを発表しあい、創発的学習を進めます。